

科目名	長期インターンシップ		英文表記	Long Term Internship		H22年4月1日
教員名：【機械システム】眞喜志治，政木清孝【電子通信】石田修己，比嘉勝也，兼城千波 【情報】伊波靖【生物資源】池松真也，山城秀之 技術支援：						作成
						修正
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻科	1又は2年	選択	履修	4単位	実習	通年
目標	① 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 ② 社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ③ 共同研究や受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。					
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学 電子通信システム工学 情報工学 生物資源工学
	◎			○		
JABEEプログラム教育目標			【機械システム】A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3 【電子通信システム】A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3 【情報工学】A-2,A-3,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-4 【生物資源工学】A-1,A-3,B-1,B-2,B-3,C-2,C-3			
授業概要、方針、履修上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力（企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など）を実践レベルで身につける。					
評価方法	1. インターンシップ先企業からの評価書および各学生の製作するインターンシップ報告書を各100点満点で評価し、評価書50%・報告書50%、合計点が60%以上で合と評価する。 2. 可否の判定は各コースの科目担当教員が行う。					
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料					
参考図書						
授 業 計 画						
授 業 項 目	時 間	授 業 内 容				
1. 講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスする。				
2. インターンシップ先企業研究	9	企業調査、マッチング				
3. インターンシップ	160	約1カ月間程度企業研修を実施する				
4. 成果報告まとめ	10	インターンシップ報告資料を作成し、提出する。				
学年末試験		試験は実施しない				
学習時間合計	180	実時間	180			

学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）

企業調査、報告書作成（20時間）を含め、180時間以上とする。